

レスリング・全日本大学グレコローマン選手権

55kg・北村 84kg・与那覇 3位



▲テクニカルフォール勝ちを連発した北村

が決勝に進んだため敗者復活戦へ。ここから北村らしさを発揮し、1回戦は3点の投げ技を2回決めテクニカルフォール勝ち。3位決定戦も4分46秒でテクニカルフォールで勝利した。

天皇杯(全日本選手権)に照準を合わせる北村は「強い選手ばかりだが、入賞できるように頑張りたい」と目標を新たにした。

全日本大学レスリンググレコローマン選手権が10月17、18日に駒沢体育館で行われた。この大会では各大学からそれぞれ階級代表が一人ずつ出場して、その順位に得点を付け、合計得点を競う。専大は55kg級の北村侑磨(経済2・玉名工高)と、84kg級の与那覇竜太(経営1・浦添工高)が3位に入賞し、大学対抗では6位となった。北村は2回戦で今大会準優勝の内山(山学大)に敗れた。しかし、相手(小川中緒梨・文2)写

男子4位、女子7位 最優秀選手賞に小浦

信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦が10月31日、11月1日、千葉カントリークラブで行われた。出場5人中、上位4人のトールスコアで順位を決定する団体戦で、男子が4位、女子が7位となった。個人では今季好調の小浦和也(商3・日章学園高)が、2日間トータル137で男子の最優秀選手賞を受賞した。



▶活躍が光った小浦撮影・竹内

男子は小浦、久志剛俊(商3・広島国際学院高)の活躍が光り、東北福祉大の上をいく3位で初日を終える。女子も5位と上位が狙える位置につけて2日目を迎えたが、男女ともにスコアを伸ばすことができなかった。

10月29、30日には個人戦の朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権が同会場で行われた。男子は小浦が3アンダーで初日を終えたのをはじめ、全員が予選ラウンドを通過。最終成績は小浦がトータル6位タイで、来年の朝日杯出場権を獲得した。女子は西山美希(経営2・厚木北高)の25位タイが最高順位だった。(安江祐輔・経済2)

フルーレで準優勝

張眞が準優勝 男子サーブル 関東学生フェンシング選手権が10月16日から24日まで、駒沢体育館屋内球技場で行われ、女子がフルーレ団体で準優勝、サーブル団体で3位に入賞した。個人では、団体戦もチームに貢献した新田優衣(商4・津久見高)がサーブルで3位、百崎千裕(ネット情報2・佐賀商高)が4位。フルーレで鈴木莉奈(商3・聖霊女子短大付高)が4位、エペで森彩恵(文3・札幌大谷高)が6位となった。男子はサーブル個人で

張眞龍太(経済3・玉野光南高)が準優勝した。張眞は準決勝で吉田(法大)と対戦し11-14と追い込まれたが、ひるむことなく猛烈な追い上げで、一気に4点を連取し、逆転勝利を収めた。(も)



▶攻勢に出る張眞

日本オープンゴルフ選手権 小浦がローアマ

日本オープンゴルフ選手権が10月17日から21日まで、茨城ゴルフ倶楽部・東コースで行われた。日本のトッププロとトップアマが出場する国内屈指のメジャートーナメントで、小浦和也が通算3オーバーの26位タイでローアマチュア(アマチュアでトップの成績)を獲得した。在学中にローアマチュアを獲得したのは、横田真一さん(平6商)以来となる。小浦は第1、第2ラウンドはイーブンで回る上々の立ち

日本拳法・東日本大学選手権 日本拳法東日本大学選手権が10月13日、慶応義塾大学日吉記念館で行われ専大は4位に入賞した。7人制対試合、3分間3本勝負のトーナメント方式で争われた今大会。専大は1回戦で青学大を破ると、続く日大戦は4

4位入賞

日本拳法・東日本大学選手権が10月13日、慶応義塾大学日吉記念館で行われ専大は4位に入賞した。7人制対試合、3分間3本勝負のトーナメント方式で争われた今大会。専大は1回戦で青学大を破ると、続く日大戦は4

ローラースケート・全日本学生選手権 総合優勝

全日本学生ローラースケート選手権が10月11日から13日まで、長野県千曲川リバーフロントスポーツガーデンで行われた。同大会はスピード、ホッケーの2部門が行われ、順位による得点で団体総合成績が決まる。男子は1500メートルで室伏経志(人間科学部)が優勝し、女子は1000メートルで小田原高が優勝。各選手の健闘もあり1600メートル部門でも制して、スピード部門で1位。ホッケー部門でも3位となり、総合で1位に輝いた。女子は北村祐香里(経営2・鉦路湖陵高)が300メートルタイムレースで優勝、1600メートルを2位で終え、スピード部門で1位。ホッケー部門は4位で、総合では2位となった。5000メートルで優勝し、チームの勝利に貢献した藤本将貴主将(経済4・生田高)は「専大はもともスピードに強く、今回はその部分がよく出せた。来年度はスピード部門とホッケー部門の両方を制し、完全優勝を達成したい」と語った。(竹内雅哉・経済2)

勝3敗で接戦を制し、準決勝へと駒を進めた。準決勝、3位決定戦では強豪校に敗れたものの4位となった。横森雄介主将(法4・韮崎高)は「去年はシードとして臨んだが、初戦で敗れて悔しい思いをした。今回は強豪校がそろって、ベスト4に入れた。各競技の結果、一部に残留した。バスケットボールでは関東大学リーグ戦(8月28日〜10月27日)で代々木第2体育館ほか)で男子が6勝12敗で7位。同女子リーグ戦(8月31日〜10月20日)で代々木第2体育館ほか)は6勝8敗で5位となった。



▶練習風景撮影右川

ローマンスタイル55kg級北村侑磨(熊本県代表) 5位

国体で活躍

各県代表専大生「スポーツ祭東京2013」(第68回国民体育大会)9月28日〜10月8日、東京都)に多くの専大生が出場し、各県の代表として活躍した。卓球競技の成年女子では鈴木李茄(商1・青森山田高)が青森県代表の一員として出場し、団体の3位入賞に貢献。また、レスリング競技の成年男子フリースタイル66kg級では近藤達矢(経営4・八幡浜工高、愛媛県代表)が3位と健闘した。

◆主な入賞者◆
▽ゴルフ競技【成年男子】小浦和也(宮崎県代表) 5位タイ▽カヌー競技【成年男子カヌー】スプリント・カヤックシングル(200メートル)村上弘記(法2・高瀬高、神奈川県代表) 6位▽レスリング競技【グレコローマンスタイル】小浦和也(宮崎県代表) 5位▽カヌー競技【成年男子カヌー】スプリント・カヤックシングル(200メートル)村上弘記(法2・高瀬高、神奈川県代表) 6位▽バスケットボール【男子】代々木第2体育館ほか)で男子が6勝12敗で7位。同女子リーグ戦(8月31日〜10月20日)で代々木第2体育館ほか)は6勝8敗で5位となった。

記録コーナー

◆アーチェリー部
▽全日本学生フィールド選手権(10月18〜20日) 選考競技馬場馬術目2009 小林千純(経済4・栗東高) 2位【東京障害飛越競技1100メートル】二川祥 3位
◆ボテビル部
▽関東学生選手権(10月6日) 東洋大学井上円了(馬事公苑) 【総合馬場馬術】団体7位